

4/11 7-23-

人が1932年に来日した際、
当時の金丸信・自民党副総裁（故
人）が法務省に働きかけて入国の
便宜を図っていたことが6日に公
開された韓国外務省の外交文書で
明らかになりました。法務省は當
初、入国を認めない立場でした。
しかし、金丸氏が皇元を保証する
としたため特別に許可されたこと
が同文書に記されています。自由
党と統一協会の長年にわたる癡情
の一端を改めて浮き彫りにしてい
ます。文鮮明来日は、統一協会の
活動を後押しし、被虐を拡大させ
たとされます。政府方針が変更さ
れた全貌の解説が欠かせません。

統一協会と自民党

主張

税法違反の罪で1年以上服役しています。入管法の規定では入国は禁止されています。

韓国で公開された外交文書によれば、入国を拒否する方針だったため、外務省も「特別意見しなかったため、最終的に判断を変えた

韓国外務省は作成から既に過した外交文書を公開します。文鮮明の来日を巡っての口利きによる特別の事務だれば、当時から匿名でになってしまったが、外交官として受けられた形です。

自民党的な権力者の力で政府の方針がねがめられた経過は全面的に明らかにされなければなりません。しかし、松野博一官房長官は韓国外交文書公表を受けた6日の

一転して実現したのはなぜか。国
際化問題すべくれども、

とされていきます。この情報は在日韓國大使館が日本の大外務省に非公式に問い合わせをして得たとしています。

文鮮明出来田が、国民党内のグル
一派である「北東アジアの平和を
守るために活動する会」の招集人とな
る。これが、同会メンバーに謝意を
して下さる。中間根康弘元會長と
も懇親しました。統一協約は日本
半島の米田を利用して、被説をな
むことに付いた機会になりました。

「不明のままです。」世界基督教統一神靈協会から「世界平和統一家庭連合」に名称変更したことや正体を隠した資金集めや人材獲得ができるようになり、被審を拡大させる転機になつたとされます。それまで認められなかつた名称の変更が、安倍元首相の側近の一人

おつし無反転ぢや。義理を發せぬ
被審者の頭にわざりがゆ。